

福 山 市

2023 年度

平迫水路・ゼロ市債

広島県福山市 藤江 町 地内

水路改良 工事実施設計書

工  
事  
概  
要

工事延長	L=65.0m
水路幅	W=0.5m
開渠工	
角フリューム500	L=58m
角フリューム500片口分水	N=2個
仮設工	一式

## 特記仕様書

### 第1章 総則

#### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、水路改良工事（平迫水路・ゼロ市債）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類  
「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

#### 第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

#### 第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

#### 第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

#### 第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

### 第2章 材料

#### 第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

### 第3章 施工条件

#### 第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

#### 第2節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

### 第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

## 第4章 その他

### 第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

## 第5章 総則

### 第1節 運搬費及び準備費の設計変更

1 工事施工に当たり、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の次に示す経費（以下「実績変更対象費」という。）について、土地改良事業等請負工事積算基準に基づく積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

#### 【実績変更対象費】

運搬費：建設機械の運搬費

準備費：伐開、除根、除草費

2 受注者は、以下に示す共通仮設費に対する実績変更対象費の割合（以下「割合」という、）を参考にし、実績変更対象費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。

#### 【実績変更対象費の割合】

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（運搬費（建設機械の運搬に要する費用））の割合：〇％

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（準備費（伐開・除根・除草に要する費用））の割合：〇％

3 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績変更対象費に関する内訳書（様式〇）及び内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書の写し、又は金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

4 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。

5 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

## 第6章 その他

### 第1節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

### 第2節 ゼロ市債 請負代金の支払いについて

1. 本工事における請負代金の支払いについて

・本工事において、各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

2023年度（令和5年度） 金0円

翌年度（令和6年度） 全額

前金払について、請負代金額の10分の4の金額を2024年度（令和6年度）に全額を支払うものとする。

発注者は、予算上の都合その他の必要があるときは、上記の支払い限度額を変更することができる。

・部分払いを請求できる回数は次のとおりとする。

2023年度（令和5年度） 0回

翌年度（令和6年度） 福山市契約規則第15条で定めた回数

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-06.01.01(0)  9 公共(011015～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	06 水路工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 03 計上しない 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
水路工事									レベル1	
土工	1			式					レベル2	
掘削工	1			式					レベル3	
土砂掘削	1			式					レベル4	
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					m3				00	
作業残土処理工	6				m3				単第 0 -0001号表	レベル3
作業残土処理	1			式					レベル4	
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)					m3				00	
	12				m3				単第 0 -0002号表	



# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費 コンクリート殻(無筋)	25		t							
開渠工										レベル2
作業土工	1				式					レベル3
床堀	1				式					レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					m3					00
埋戻	14				m3					単第 0 -0005号表 レベル4
機械併用埋戻(小規模土工)					m3					00
現場打ち開渠工	8				m3					単第 0 -0006号表 レベル3
均しコンクリート	1				式					レベル4
					m3					







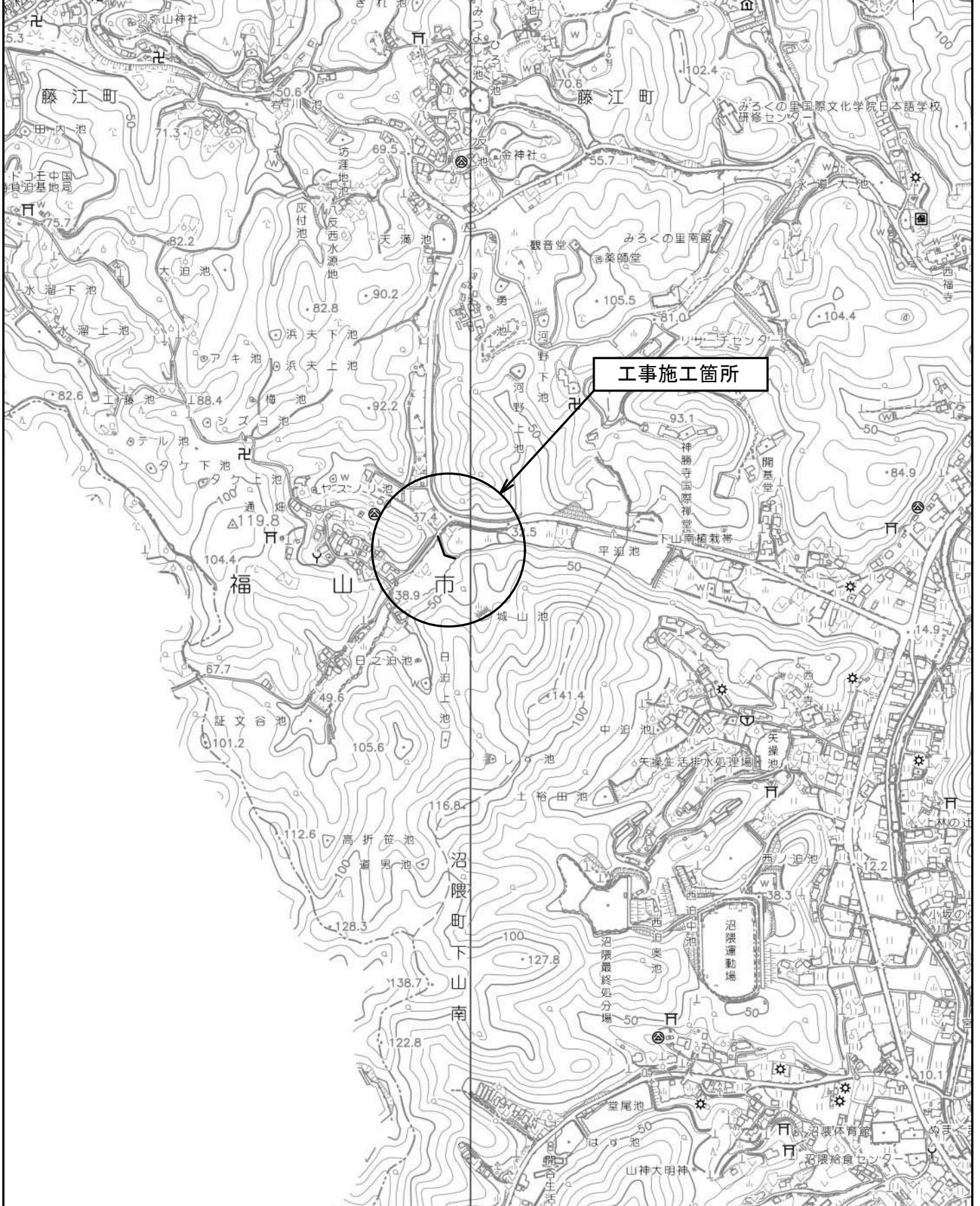
# 本工事費

# 内訳表

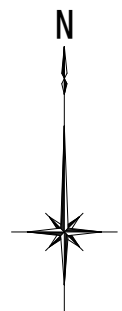
費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率 分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率 分						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相 当額計 **						



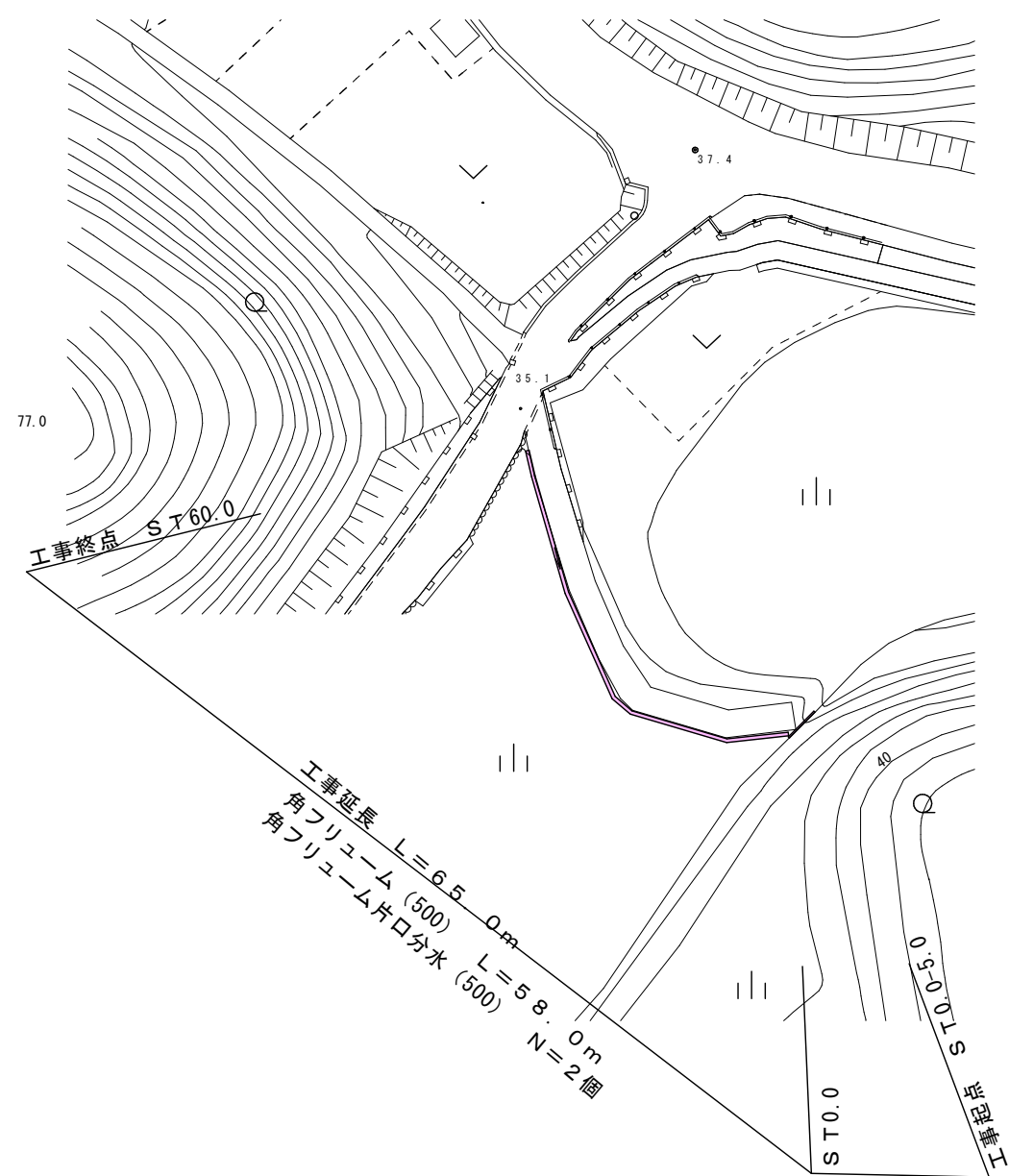
図面番号	1 / 2	縮 尺	S=1:10,000
工 種	水路改良工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	平迫水路・ゼロ市債		
工事箇所	福山市藤江町地内		
<b>福 山 市</b>			



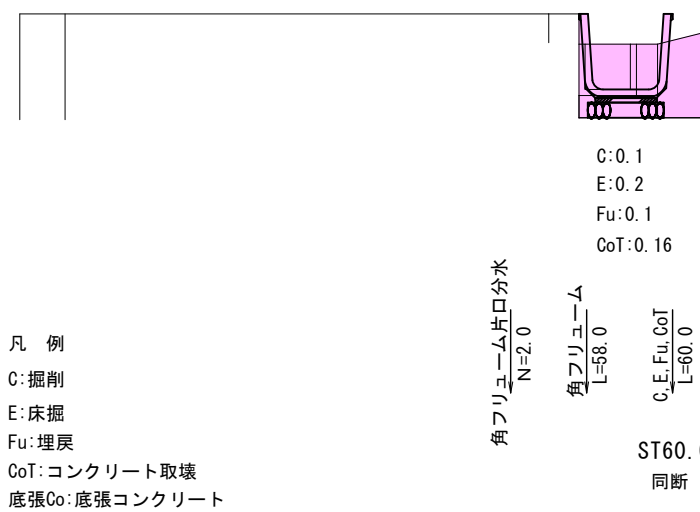
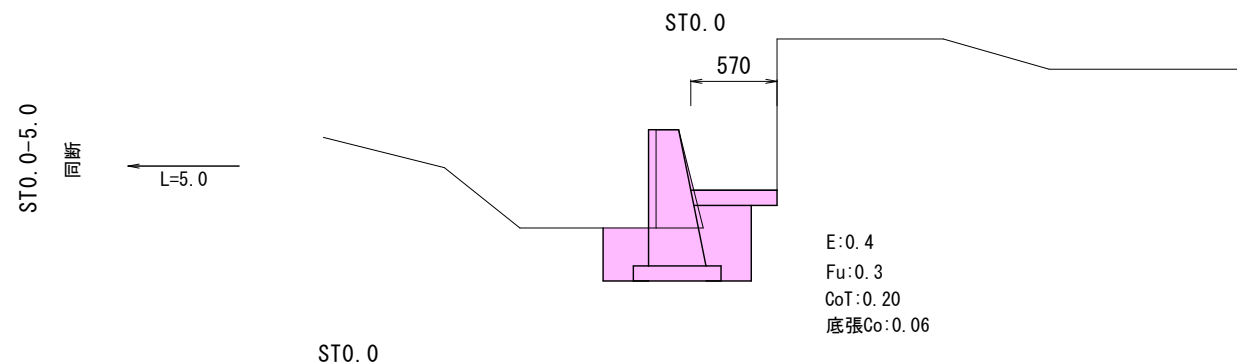
図面番号	2 / 2	縮尺	図示
工種	水路改良工事		
種別	各種図面	番号	/
河川名 路線	平迫水路・ゼロ市債		
工事箇所	福山市藤江町地内		
福山市			



平面図 S=1:1000

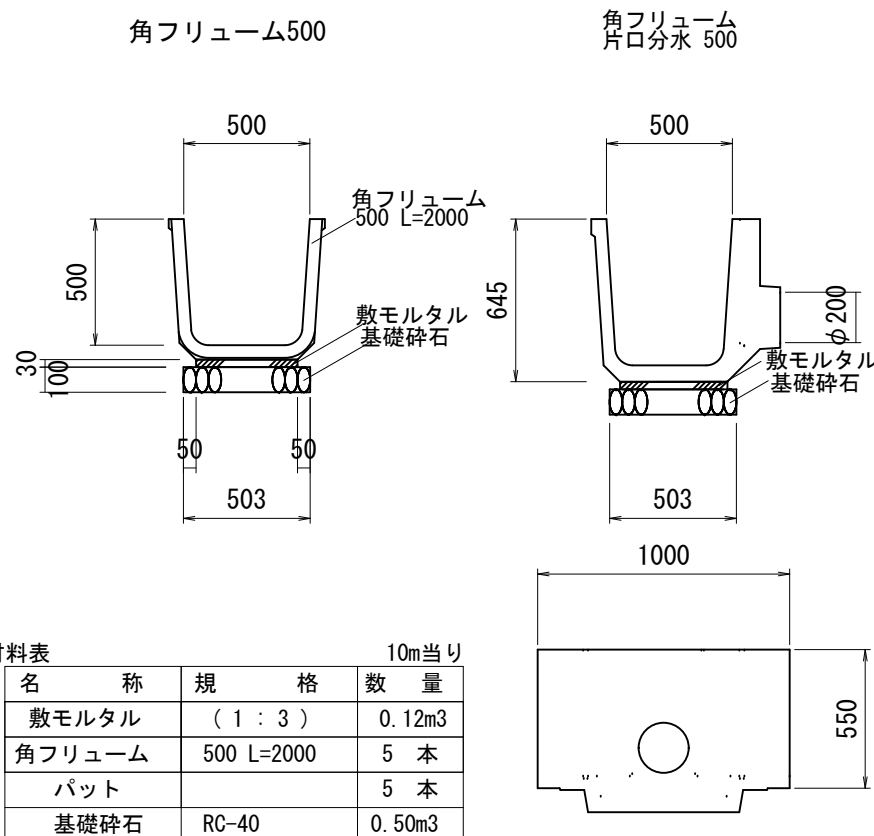


横断面 S=1:50



- 凡例  
 C:掘削  
 E:床掘  
 Fu:埋戻  
 CoT:コンクリート取壊  
 底張Co:底張コンクリート

構造図 S=1:30



材料表 10m当り

名称	規格	数量
敷モルタル	(1:3)	0.12m <sup>3</sup>
角フリーム	500 L=2000	5本
パット		5本
基礎砕石	RC-40	0.50m <sup>3</sup>

材料表 10m当り

名称	規格	数量
コンクリート	18-8-40BB	2.6m <sup>3</sup>
型枠		18.2m <sup>2</sup>
均コンクリート	18-8-20BB	0.6m <sup>3</sup>
型枠	均型枠	2.0m <sup>2</sup>
底張コンクリート	18-8-20BB	0.6m <sup>3</sup>

以下参考図書

# 施工単価表

掘削

SPK23040001

単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 21.98% 労務構成比:

69.33%

材料構成比: 8.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,434.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	21.98%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第 0 -0002号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 19.19% 労務構成比:

71.06% 材料構成比: 9.75%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,860.9000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		





# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第 0 -0004号表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,135.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

# 施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第 0 -0005号表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		



# 施工単価表

機械投入(バックホウ)

SPK23040007

単第 0 -0007号表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 28.44%

労務構成比: 59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,011.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		



# 施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK23040154

単第 0 -0009号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32% 労務構成比:

37.95% 材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,669.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第 0 -0010号表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,504.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	59.07%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第 0 -0011号表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.19%

労務構成比:

40.17%

材料構成比: 55.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,518.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.96%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.56%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第 0 -0012号表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.9000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

頁0 -0023

基礎碎石

SPK23040034

単第 0 -0013号表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.88% 労務構成比: 76.10%

材料構成比: 18.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,145.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.84%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	12.56%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013















工 事 数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	算出数量	設計数量	摘 要
水路改良								
	土工							
		掘削工						
			掘削	小規模（標準以外）	m3	6.0	6	計第1表
		作業残土処理						
			土砂等運搬	小規模	m3	11.7	12	$6.0 + (14.0 - 7.5 / 0.9) = 11.7$
			処分費	粘性土	m3	11.7	12	
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
			構造物とりこわし工	無筋，機械施工	m3	10.6	11	計第1表
		殻運搬・処理						
			殻運搬	DID有，L=21.9km	m3	10.6	11	
			処分費	Co殻（無筋）	t	24.9	25	$10.6 * 2.35 = 24.9$
	開渠工							
		作業土工						

工 事 数 量 総 括 表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	算出数量	設計数量	摘 要
			床掘	小規模	m3	14.0	14	計第1表
			埋戻し	小規模	m3	7.5	8	計第1表
		現場打ち開渠工						
			コンクリート	均し, 18-8-20BB	m3	0.3	0.3	計第2表
			型枠	均し	m2	1.0	1.0	計第2表
			コンクリート	小型, 18-8-40BB	m3	1.3	1.3	計第2表
			型枠	小型	m2	9.1	9.1	計第2表
		プレキャスト開渠工						
			基礎砕石	RC-40	m2	30.0	30	計第3表
			角フリューム	KF-500	m	58.0	58	計第3表
			角フリューム	KF-500片口分水	個	2.0	2	計第3表
			底張コンクリート	無筋, 18-8-20BB	m3	0.3	0.3	計第3表
	仮設工							
		水替工						
			ポンプ運転工		日	5.0	5	
			据付・撤去工		箇所	1.0	1	

## 計第 1 表

## 土工

## 計 算 書

測 点	距 離	掘削			床掘			埋戻			コンクリート取壊			備 考
		C	平 均	立積	E	平 均	立積	Fu	平 均	立積	CoT	平 均	立積	
ST0.0-5.0					0.4			0.3			0.20			
ST0.0	5.0				0.4	0.40	2.0	0.3	0.30	1.5	0.20	0.20	1.0	
ST0.0		0.1			0.2			0.1			0.16			
ST60.0	60.0	0.1	0.10	6.0	0.2	0.20	12.0	0.1	0.10	6.0	0.16	0.16	9.6	
合計				6.0			14.0			7.5			10.6	

計第 2 表

現場打ち開渠工

計 算 書

測 点	延長	均しコンクリート			型枠			コンクリート			型枠			備 考
			平 均	立積		平 均	平積		平 均	立積		平 均	平積	
ST.0.0-5.0		0.06			0.20			0.26			1.82			
ST.0.0	5.0	0.06	0.06	0.3	0.20	0.20	1.0	0.26	0.26	1.3	1.82	1.82	9.1	
合計				0.3			1.0			1.3			9.1	

計第 3 表

排水構造物工

計 算 書

測 点	延長	角フリューム500			角フリューム500片口分水			底張コンクリート			角フリューム500基礎碎石			備 考
			平均	延長		平均	個	底張Co	平均	立積		平均		
ST.0.0-5.0								0.06						
ST.0.0	5.0							0.06	0.06	0.3				
ST.0.0											0.50			
ST.60.0	60.0			58.0			2.0				0.50	0.50	30.0	
合計				58.0			2.0			0.3			30.0	